

特殊詐欺対策の推進状況等（令和4年10月末現在暫定値）

1 特殊詐欺手口別の被害状況

※ 被害金額（万円）

	令和4年10月末		令和3年10月末		増減	
	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額
特殊詐欺全体	174	58,590	172	33,499	+2	+25,091
オレオレ詐欺	17	6,683	40	11,574	-23	-4,891
預貯金詐欺	35	4,283	15	1,200	+20	+3,083
架空料金請求詐欺	75	41,352	52	13,968	+23	+27,384
還付金詐欺	30	3,310	44	3,735	-14	-425
キャッシュカード詐欺盗	10	1,699	11	879	-1	+820
融資保証金詐欺	4	570	5	648	-1	-78
ギャンブル詐欺	3	694	3	1,423	0	-729
金融商品詐欺	0	0	2	72	-2	-72

2 水際阻止の状況

	令和4年10月末	令和3年10月末	増減
水際阻止件数	432件	407件	+25件
水際阻止額	約9,518万円	約1億6,219万円	-約6,701万円
水際阻止率	71.9%	71.2%	+0.7P

※ 水際阻止の例

【金融機関】 窓口で、高額の引き下ろしをする顧客に、用途の確認をするとともに、早期に警察へ通報したもの。

【コンビニ】 電子マネーカードの購入客に事情を確認し、詐欺だと気付いたもの。

【ATM利用客】 携帯電話で通話をしながらATMを操作する客を詐欺被害ではないかと疑い職員に連絡したもの。

3 特殊詐欺被害防止に向けた対策

① 固定電話対策

（犯人と電話で話をしない）

- ・購入補助金制度創設の働き掛け
- ・地元企業従業員に向けた防犯機能付き電話導入の働き掛け

② 広報活動

（嘘の話にだまされない）

- ・報道機関を活用した情報発信
- ・関係機関・団体と連携した情報発信

③ 水際対策

（お金を渡さない）

- ・金融機関・コンビニ等への対応強化依頼
- ・コンビニ協会と連携した電子マネー封筒の導入